

# 令和3年度 学校自己評価システムシート ( 県立深谷高等学校 )

目指す学校像	学力の向上、部活動の振興に重点を置き、地域から信頼される進学校を目指す。 文武両道の精神に基づく心豊かな生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 確かな学力の定着を目指し、学習指導の工夫と主体的学習態度の育成を図る。 2 生徒一人一人の進路実現を叶える支援の充実を図る。 3 基本的生活習慣の確立を図り、部活動、学校行事の活性化を支援し、豊かな心を育む。 4 保護者・地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

学校自己評価						
年度目標			年度評価(2月1日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	
1	<b>【現状】</b> 入学してくる生徒の学力や学習意欲に幅がある。  <b>【課題】</b> 個に応じた学習指導、生徒の主体的な探究活動、資格取得等により、学習意欲と基礎学力を向上させ、自己肯定感を高める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の工夫改善に努め、生徒の学習意欲を喚起させ、基礎学力の定着・学力の向上を目指すとともに、感染予防対策の徹底による教育活動の実施</li> </ul>	①習熟度別授業、少人数授業等によるきめ細かな授業、学習サポーター制度等により、一層の基礎学力の定着を図る。 ②教職員研修会、校外研修会への参加、授業公開期間の研究授業、教員相互による授業見学等とおして授業の工夫改善を図り、生徒のやる気に火をつける。 ③各種検定試験の活用で、学力の伸長を目指す。 ④ICT機器(プロジェクタ、タブレット等)による授業を推進し、教育支援ツールClassiの効果的活用を図る。 ⑤「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、感染予防対策を踏まえた上でのグループワーク、ペアワーク等により「学びの改革」を推進する。	① 欠点保有者、成績不振に関わる転退学者の減少 ・評価「授業が分かりやすい」のポイントの向上 ②研修会の開催・参加、研究授業への参加 ③検定試験の受検と結果 ④ICT機器の授業等での活用とBYODへの対応 ⑤アクティブ・ラーニングの授業の実践	分掌・学年・各教科の取組で教員の授業改善、生徒の学力の向上を支援した。 ①「わかりやすい授業である(アンケート)」 R1: 79%→R2: 84%→R3: 88% 転退学者の減少(20%減少、1/27現在) ②評価に関する教務研修会、公開授業・年次研修研究授業等、教員相互観察による授業の工夫改善を推進 ③英語検定:1級1名、2級1名、準2級2名合格。数学検定を今年度から新規実施:準2級1名合格 ④Meetによる双方向オンライン授業の実施。臨時休業時を想定したオンライン授業も試験実施済 ⑤SDGsや修学旅行をテーマに探究を推進し、ポスターセッション等の実施	A
2	<b>【現状】</b> 進路希望が多様で、進学(大学短大、専門学校等)・就職を希望する生徒がバランスよく存在する。  <b>【課題】</b> 早い段階から具体的な将来の進路目標を持たせる仕掛けが必要である。進学後、就職後に対応できる学力をつける必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と家庭の連携を密にして、組織的な進路指導により、生徒の進路希望の実現</li> <li>・特進クラスの活性化・特色化</li> </ul>	①二者・三者面談を実施し、生徒に寄り添い一人ひとりの進路意識の向上を図る ②各学年が進路指導部と連携し、生徒の実態に合わせた進路行事を実施する。 ③キャリアパスポートの活用、生徒の振り返り活動等で、生徒一人ひとりに明確な進路目標を持たせる。 ④ハローワーク等の外部機関と連携した企業の求人開拓、新規配置となったJSTの活用により、生徒の就職活動を支援する。 ⑤学校推薦型選抜希望者への支援活動を行う。	①二者・三者面談の実施  ①②③生徒・保護者の学校の進路指導の取組の満足度向上  ④学校斡旋による就職志望者の希望就職先内定取得率 ⑤生徒が希望する学校との情報交換の実施	生徒の多様な進路希望に対し、担任・進路指導部を中心に個に応じた進路指導を実施した。 ①行事予定の面談の他、時宜な面談で生徒を支援 ②③各種ガイダンス、振り返り等で生徒の進路を明確化「きめ細かい進路指導である。(アンケート)」 生徒 R1: 77%→R2: 86%→R3: 86% 保護者 R1: 76%→R2: 85%→R3: 86% ④JSTの活用で、学校斡旋就職希望者の内定率97% ⑤生徒が希望する学校の説明会に参加し情報収集。保護者会の実施	A
3	<b>【現状】</b> 基本的生活習慣の定着により、生徒は落ち着いてきた。大きな乱れはなくなってきた。  <b>【課題】</b> 整容、時間厳守、挨拶励行等の更なる徹底が必要である。場面によっては、生徒が落ち着いて学校生活を送ることができるよう家庭への支援が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立と学校行事や部活動をと おして、豊かな心の育成</li> </ul>	①正門指導・登校指導を実施し、整容指導や自転車の乗り方指導を行う。 ②学年・授業・ホームルーム等で全教員が一体となって組織的な挨拶、整容、遅刻指導の徹底を図る。 ③生徒の活躍を評価し、自己肯定感を高める指導を行う。 ④部活動や委員会活動を一層活性化させ、地域との交流事業を実施し、豊かな心を育む。 ⑤生徒主体の学校行事を推進する。 ⑥家庭との連携を密にし、学校と家庭で一体となって生徒指導・教育相談を行う。特に、教育相談は専門機関と連携し、一人ひとりに寄り添った指導を充実させる。	①② ・評価「頭髪や身だしなみ時間を守って行動した」ポイントの向上 ・遅刻者数の減少 ③生徒表彰の実施 ④運動部・文化部ともに生徒主体の取組、地域との交流事業の実施、委員会活動の推進 ⑤生徒主体の文化祭・体育祭等の実施 ⑥専門機関(SC,SSW等)の活用	生徒指導部・学年を中心に組織的な生徒指導を行った。部活動・行事は生徒が主体的に活動した。 ①②「頭髪・身だしなみ・時間守れた(アンケート)」 R1: 83%→R2: 93%→R3: 94% 遅刻者数 昨年同期比3.1%の増加 ③終業式等で生徒の活躍を評価する表彰の実施 ④感染症下、工夫しての限定実施。部活動(ラグビー・家庭等)、授業(美術、ふかや学等)で連携 ⑤文化祭代替え行事:文化週間(11/1~5)で、文化部の展示発表。保健委員会・生徒会による放送活動 ⑥教育相談専門機関の活用、SC8回、SSW15回 児童相談所とも連携	B
4	<b>【現状】</b> 中学校、地域からの要望に応えることにより、本校への期待が高まっている。  <b>【課題】</b> 学校の情報を積極的に発信し、本校の魅力をアピールして地域の資源として位置付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の教育活動の情報発信を充実させ、魅力ある学校づくりの推進</li> </ul>	①学校評議員会、学校評価懇話会の意見を学校経営に反映する。 ②学校ホームページ、「ふかこう通信」等を工夫し中学校や地域住民等への情報発信を強化する。 ③学校説明会、母校訪問、学習塾対象説明会等の実施により、本校の魅力をPRし、本校志願者の増加に繋げる。 ④学校ホームページ、一斉配信メールを利用し、保護者に学校の情報を提供する。 ⑤地域の施設に生徒を派遣し、交流を図る。	①学校経営へ意見の反映  ②ホームページアクセス数の向上 ③ ・学校説明会来場者数の増加 ・本校志望生徒倍率1.10以上 ④保護者の満足度の向上  ⑤地域との交流の推進	学校HPや一斉メールの活用、学校説明会等で学校の情報を保護者・地域等に発信した。 ①評価懇話会での意見をもとに、生徒が行事・部活動においてリーダーとして活躍 ②HPアクセス数は2,994回/日(昨年2,791回/日) ③年間の来場者は昨年から増加し925組(昨年844組)。11月に臨時に学校説明会の開催。本校志願倍率0.91倍(12/15調査)(昨年同時期比-0.14P) ④一斉メールを活用し保護者に情報を発信。(51回、1/27現在) ⑤感染症対策のため地域教育機関との連携行事は概ね中止	B

学校関係者評価	
実施日	令和4年3月4日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の工夫改善に対する様々な取組が行われている。アンケート結果で「わかりやすい授業」との評価が年々増加していることから、その成果が表れているものと判断できる。</li> <li>・一方で、1割強の生徒が依然としてわかりにくいと感じている。なぜわかりにくいのかを調査し、改善方法を探る工夫があってもよい。</li> <li>・引き続き、きめ細やかな学習指導をお願いしたい。</li> <li>・調査前以外の家庭学習を促すために、効果的な勉強法を生徒に教えて欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートにおいて、きめ細かい進路指導が行われていると答えた割合が生徒・保護者ともに増加していることから、希望にかなう進路が選択できていると評価する。引き続き、生徒の希望や能力にかなうよう進路指導をお願いしたい。</li> <li>・就職希望者に対して、地元や近隣の企業を見学する機会を設け、可能であれば、保護者にも参加を促していくことが考えられる。</li> <li>・コロナ禍で指導が難しかっただろうが、進学希望者には学年の早い段階からオープンキャンパスやサマースクールへの参加を促したい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒からは、服装や身だしなみが整い、挨拶もしっかりとできる様子が伺える。</li> <li>・学校近辺での目立った行為がなくなってきた、学校が良くなっていると感じる。</li> <li>・遅刻者が増加している。社会規範の基礎なので一層の指導をお願いしたい。</li> <li>・自転車の乗車指導はマナー講習会を実施し、必要なら深谷警察署の指導を仰いだらどうか。</li> <li>・学校行事は高校生活でしかできない体験であるため、感染防止対策を踏まえた上で、できるだけ開催できることを願う。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流(地域貢献)、特色・魅力ある学校づくり、積極的・効果的な情報発信に一層努めていただきたい。</li> <li>・HPに、各部の戦歴の掲載、ふかこう通信の掲載、卒業生の声のページの工夫等を行ったらどうか。</li> <li>・隣接する保育園との交流も積極的に行うとよい。</li> </ul>	